

---

# 比較の外に立つ

---

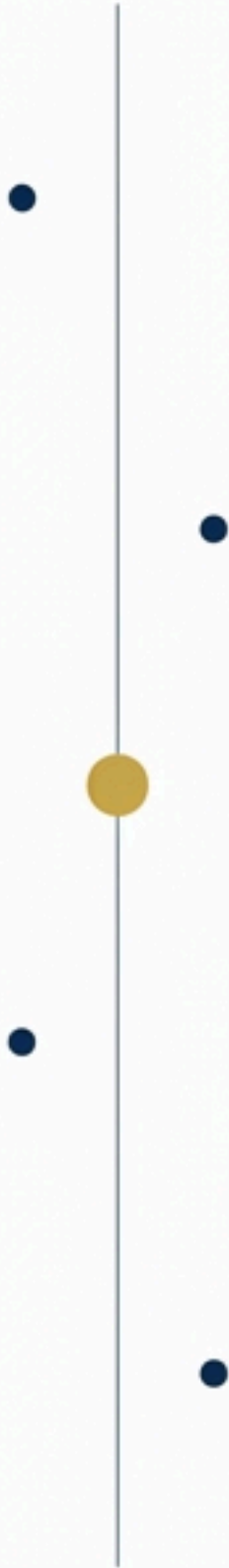
TAOISMの視座

己の現在地

評価から前進へ

道（タオ）の歩み方





## 問い

無意識の比較

上下の判定

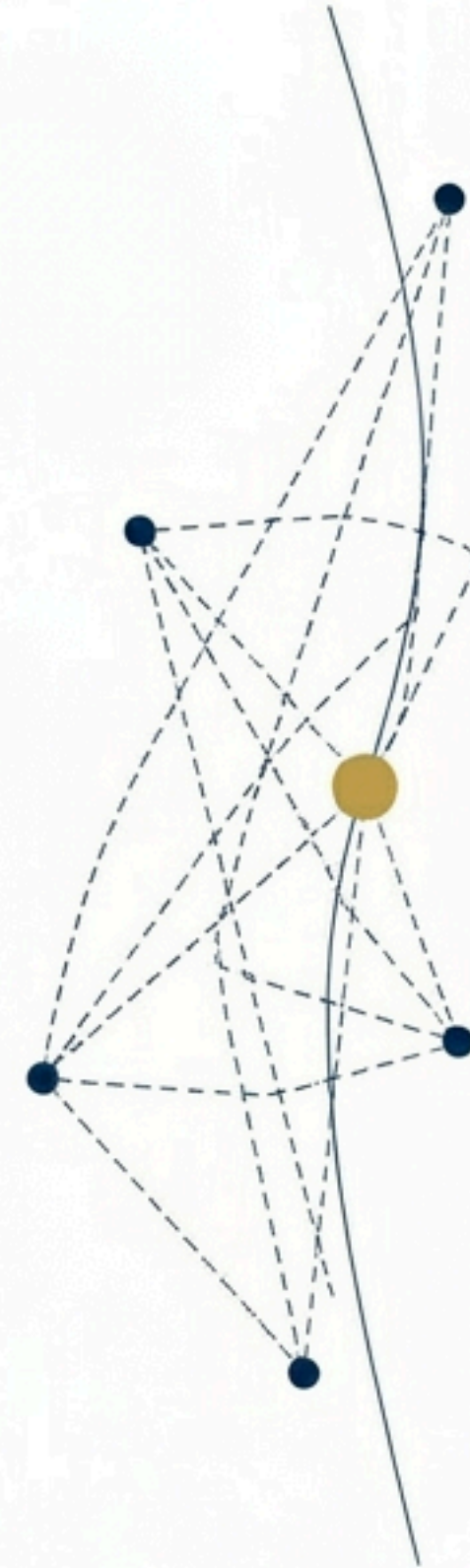
優劣の眼差し

それは本質からの逸脱

## 比較の構造

他者への執着  
歪む自己認識  
交錯する時間

鏡に映るのは歪んだ己の姿





## 錯覚

未熟への嘲笑  
一瞬の優越感  
偽りの安堵

下を見て得る安心の正体



## 過去の否定

かつての自分

転倒と迷い

自己軌跡の切断

未熟の否定は、自らの積み重ねの否定

妬みの構造

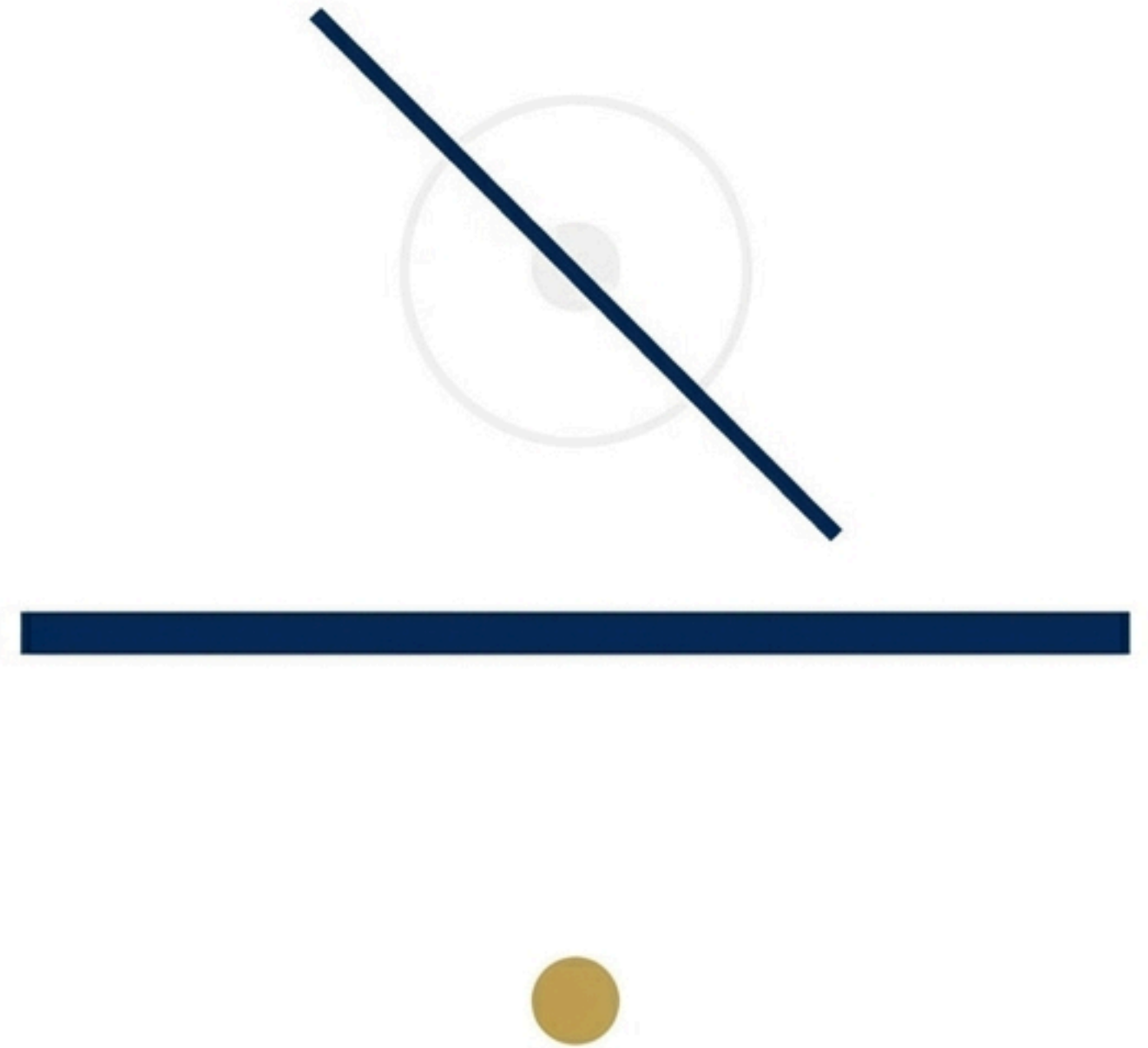
優秀への嫉妬  
特別視の壁  
心理的距離の生成

羨望は、挑戦を避ける理由

未来の否定

言い訳の正当化  
可能性の放棄  
閉ざされる扉

妬みは、未来の己を拒絶する行為





## 二つの喪失

下を見る = 過去の切断    上を見る = 未来の放棄    同時に起こる破壊  
比較が奪う二つの時間



## 現在の喪失

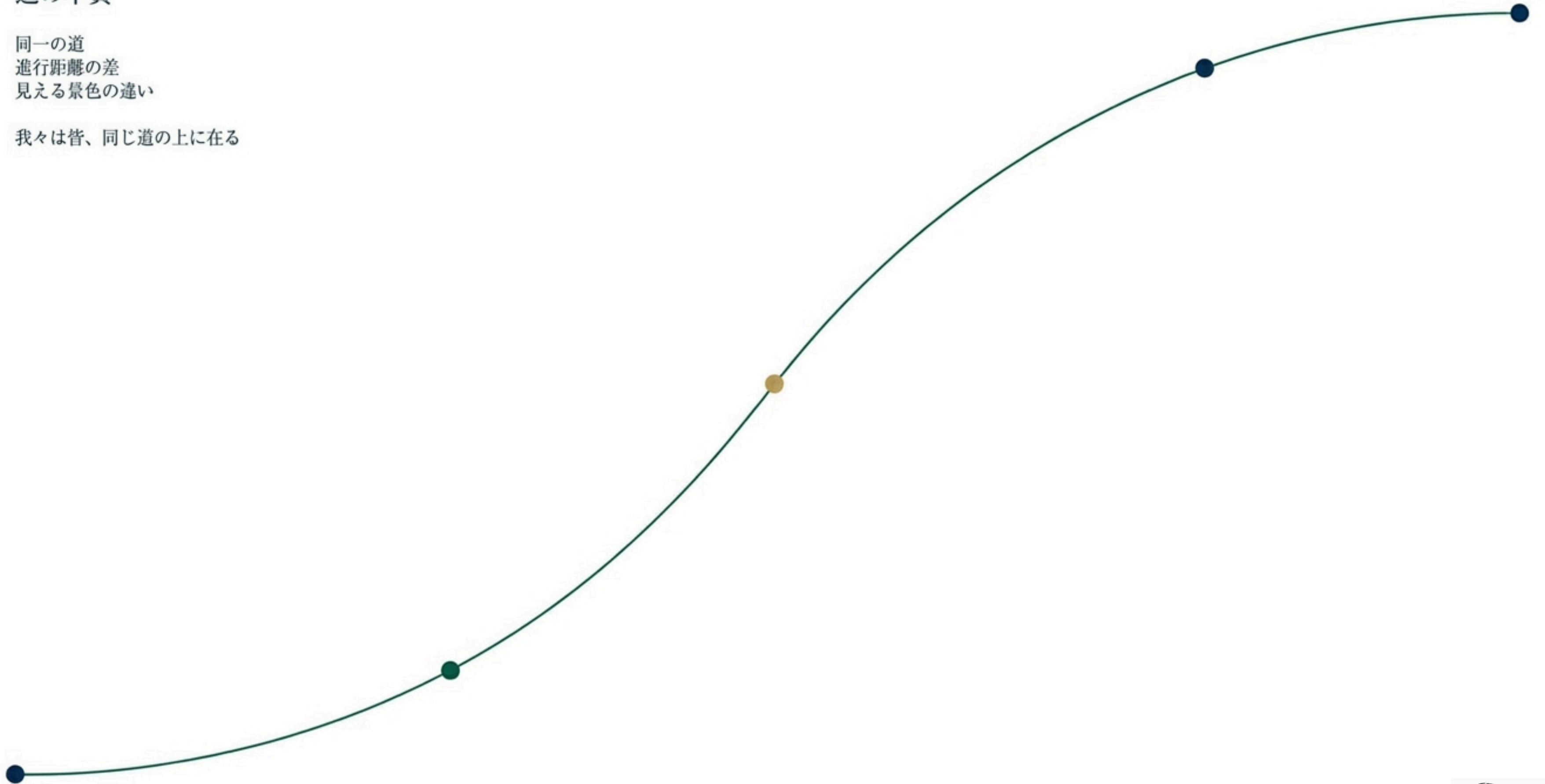
過去の忘却  
未来の喪失  
「今」の消失

二つを失う者、現在地をも見失う

# 道の本質

同一の道  
進行距離の差  
見える景色の違い

我々は皆、同じ道の上に在る





## 距離という概念

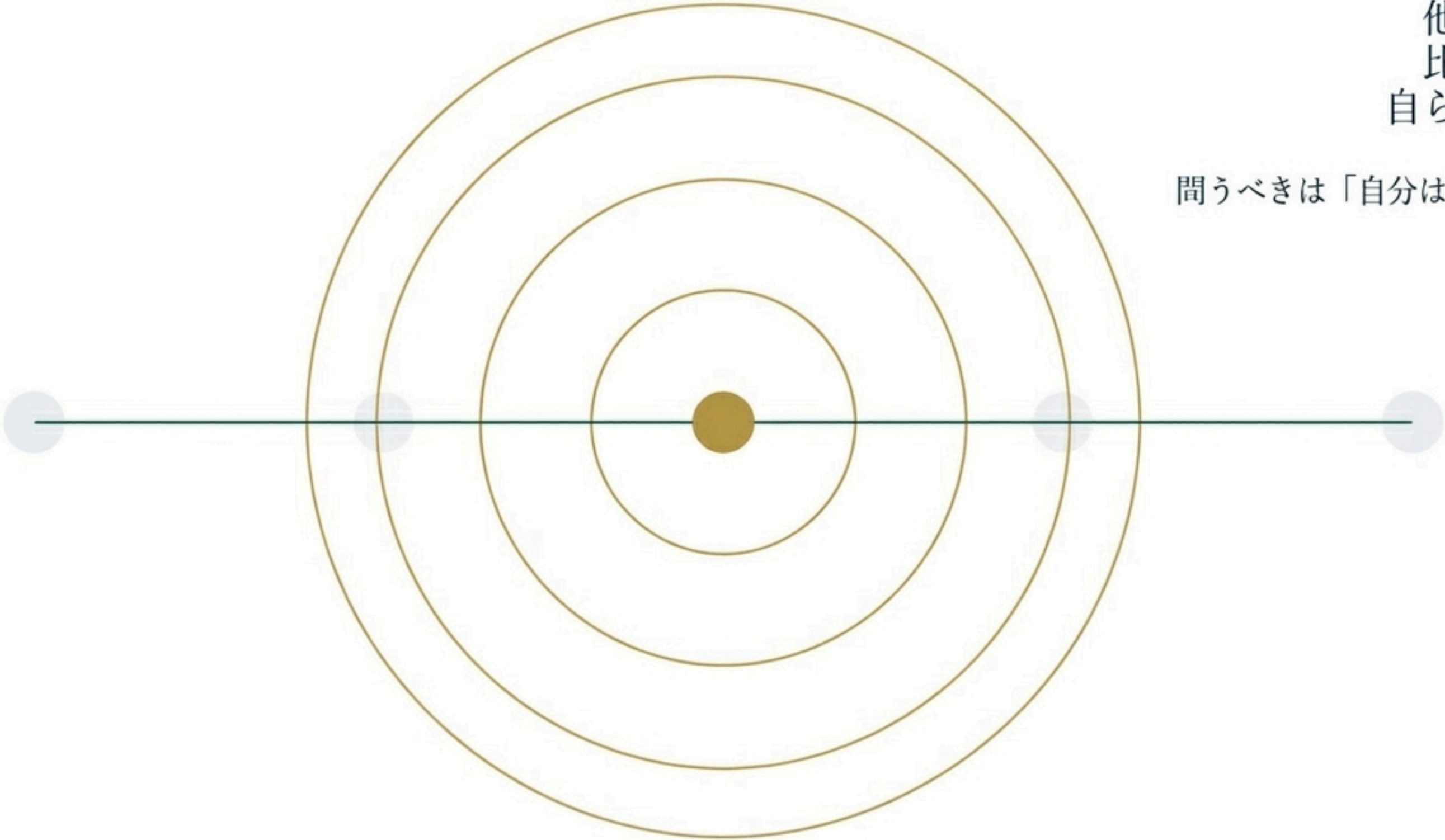
迷う者=途上  
進む者=先鋒  
単なる位置の差

存在の優劣ではなく、歩みの差

# 視点転換

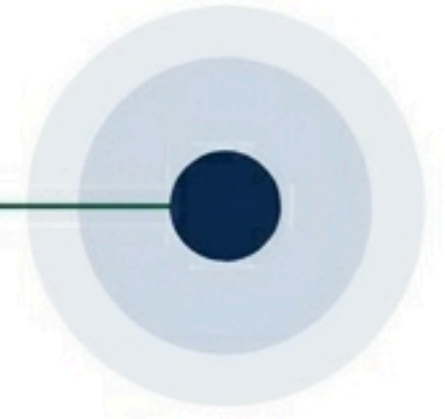
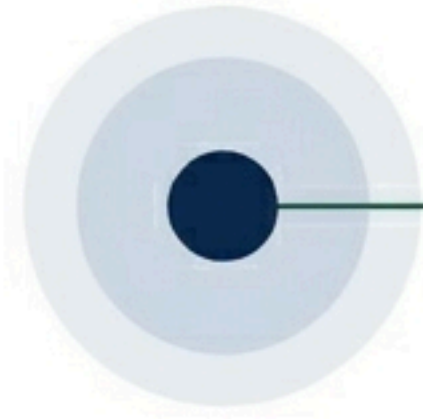
他者から自己へ  
比較から位置へ  
自らの道への回帰

問うべきは「自分は今どこにいるか」



# 行動指針

未熟の受容 (通った道)  
優秀の承認 (進める道)  
ただ観て、進む



未熟の受容 (通った道)  
優秀の承認 (進める道)  
ただ観て、進む

笑わず、妬まず、理解する

---

## 本質まとめ

評価の放棄

現在地の受容

前進への集中

道は評価する場ではなく、進む場

最終メッセージ

今日もまた一步

前へ

それだけが、唯一の正解である